

目標達成計画

作成日: 平成 24年 3月 15日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	加齢とともに骨折や関節の硬縮、筋力低下等によって歩行不安定又は歩行困難な利用者が増えつつある。転倒のリスクを回避して安全な外出を支援する。	一人ひとりの希望に沿った外出ができることで生活が活性化し地域との交流も深められる。	ホーム内での歩行練習を継続する。 歩行器、車椅子を利用し安全に外出する。 少しずつ歩行距離や時間を延ばしてゆく。 家族やボランティアの協力を活かす。	6ヶ月
2	40	利用者と職員と一緒に食事の準備や片付けをしているが食事介助や服薬介助、口腔ケアに職員が忙しく利用者と一緒に食事を摂る機会がない。	利用者と職員と一緒に食事を摂ることで食の楽しみが向上する。	週1~2回職員が交代で一緒に食事を摂る機会を持てるようにする。	3ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。